



平成30年11月20日

午前・後8時25分受領

平成30年11月26日

南山城村議会議長 廣尾正男 様

南山城村議会議員 比佐保浩司 ㊟

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
①メガソーラー発電所の建設の守心安全について	村長は以前から、メガソーラーの開発については、許可は村には、ないと言われてきました。そうした中、近いうちに許可が降りると聞き手が、村民の生命財産を本当に守らなければ、いけない。村として、しっかりと説明責任があると思うが、その点について、お伺いいたします。	村長
②道の駅の今後(課題)について	「道の駅」がオープンして1年6ヶ月が過ぎました。平成29年度の京都府観光統計では、前年度より、客数605,832人の増加、消費額は256,440千円の増加で府内では第4位の増加率となつております。おそらく、この増加数は「道の駅」に帰属するものであることはまちがいなく考えられ	村長

(注) 1質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携 150ページ参照)

2質問の相手は、村長、行政委員会の長または監査委員とします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	です。新聞では年間4億採算者数が80万と書いています。この数字は、村長はどの様に思われるか、お伺いいたします。	
③商工業の活性化施策について	先の質問に関連して、現在経済産業省が行っているリソース分析における地域内経済循環率について、南山城村は、いくらぐらいかご存知でしょうか。	村長
④観光振興について	今年で村の産業は茶産業を中心とするBtoBがほとんどであったわけですが、消費者が多様化する今日においては、これからはBtoCの推進も同時に行われなければならず、その拠点が「道の駅」であるわけですか。BtoCの推進には物販(産直)宿泊(滞在)に加え体験(コンテンツ)づくりが必要不可欠です。どうして「観光振興課」が必要ではないでしょうか。	村長